



6月29日 屏風山登山と山の音楽会♪



梅雨の晴れ間、朝までの雨で登山道が滑りやすく危険なので、急きょルートを変更して実施しました。北寿老から登った25名の中には幼児園児もいましたが、大人でも大変な山道を笑顔で登りました。

黒の田東湿地では、山の音楽会を開催し一般の登山者と一緒にオカリナ演奏会を楽しみました。オカリナの音色が湿地に響きわたり、山の小鳥たちも合わせて歌っていました。



7月13日



受け継がれる稲津の自然とボランティア精神 稲津町内整備作業

「ふるさとの自然を守るために」「つぎの世代に繋げるために」ボランティアで参加して下さった103名の皆さんありがとうございました。

小里城跡は、小里城顕彰会と小里地区の区長さんを中心に草刈りをしました。御殿場付近は、大人の腰の高さまで伸びた雑草の草刈りをしました。水洗・中学校線桜並木はまちづくり地区推進委員、止静庵跡は卯月会と萩原地区の区長さん、いいなつ農園は市役所稲津会・ひざし職員さん等多くの方に協力をいただきました。前日の雨で湿気が多く蒸し暑い中、足を踏ん張って急な斜面の草刈りや鎌とノコギリでの手作業は大変でした。公民館周辺は、シルバー人材センター稲津支部の皆さんに整備していただき、気持ちよく夏まつりを迎えることが出来ました。



暑さ我慢しないで

稲津公民館のロビーがクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)になります。暑さの厳しい日に外出した際、熱中症予防のために休憩できる場所です。利用日時は熱中症特別警戒アラートが発表された時の、平日8時30分から17時15分までの間、公民館ロビーを開放します。飲料は各自で用意してください。



夏休み自習室

朝の気持ちのいい空気の中で、宿題や自分のやりたい勉強・読みたい本に、じっくり取り組みませんか。

- ◆期 日 8月19日(月)・20日(火)
- ◆時 間 9時~11時50分
- ◆場 所 稲津公民館 図書室又は研修室
- ◆持ち物 自習用の勉強道具か読書用の本
- ◆対 象 小中学生

申込は不要です。上記の期日にお越しください。問合せ:安永 090-1740-1636

ii-nuts!!ギャラリー

作品展示してみたい方お声がけください。

花火オーナー様に感謝

夏まつりの祈願打ち上げ花火はご覧いただけただけでしょうか。小さな町で盛大な花火が打ち上げられたのも、ご協力くださったオーナー様方のお蔭です。心より感謝申し上げます。稲津の祈願花火は願いが叶うと巷で有名です。きっと願いも叶うことでしょう。



8月の稲津さん

稲津町の災害の担い手

瑞浪市消防団第4分団 分団長

高木健太郎さん

(44歳) 五郷



今年4月から分団長に就任しました。消防団員は、地域の防災を担えるよう日々訓練に励んでいます。

稲津町では幸いなことに、ここ数年火災は起きていません。いざという時に迅速な行動が出来るよう、団員をまとめて引っ張って行きたいと思っています。

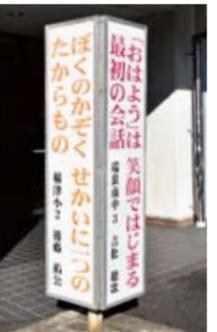
実際の火災現場では、落ち着いて訓練どおりに行動するのみですが、水の確保が難しいです。消火栓や近くの川から水を引くのですが、小さな水路しかない場合は土のうを置いてせき止めます。ほかには豪雨時に河川の水位や、土砂崩れなど危険箇所がないか見まわりをします。現場は大変ですが、みなさんから労をねぎらう言葉をいただくと頑張れます。

全国的に団員の確保に苦労しています。稲津町も操法訓練など人数が少なく大変です。稲津町を守って下さる方募集しています。

「青少年育成・社会福祉標語」の募集について

稲津町青少年育成町民会議の教育部会には、心豊かな“人づくり”“地域づくり”を進める。という生涯学習の理念があり、標語を通じて町民の意識向上につなげます。青少年育成町民会議と社会福祉協議会稲津支部と合同で、小中学生の皆さんに「青少年育成・社会福祉標語」を下記のとおり募集しています。

- ◎テ ー マ 「思いやり」「未来」「仲良し」好きなテーマを選んで応募してください。投稿用紙は学校をとおして配布します。
- ◎提出期限 9月27日(金) ◎提出先 稲津小学校・瑞浪南中学校・麗澤瑞浪中学校
- ◎発 表 入選作品は2月1日号のいなつびよりに掲載します。優秀作品は2月6日青少年育成町民会議で表彰します。最優秀賞の4作品は、公民館ホール前の標語パネルに1年間掲示します。



人 口	6月1日現在		7月1日現在		増減
	男	女	男	女	
	2,040	2,068	2,036	2,059	-4
	計	4,108	4,095		-13
世帯数	1,732	世帯	1,733	世帯	1

	不燃ごみ		ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
	小 里	萩 原	
	8月14日	8月13日	8月28日
	9月13日	9月12日	9月25日

寿大学の大学生の笑顔が戻ってきています。幕末に江戸時代の儒学者として活躍し、渡辺華山や佐久間象山などに大きな影響を与えた美濃国岩村藩出身の佐藤一斎という人がおりました。佐藤一斎の著書「言志四録」の中に「若くして学べば、壮にして為すことあり。若くして学ばば、老いて衰えず。老にして学ばば、死して朽ちず」という有名な言葉があります。この言葉は小泉純一郎元首相が座右の銘としていたといわれています。この言葉は公民館の主目的である生涯学習の神髄を言い表しています。日本は今超高齢化社会に突入しています。寿大学は卒業式のない学校です。どうかいつまでも健康で2度目の青春を謳歌されますようご祈念申し上げます。

瑞浪市内の寿大学は学生数の減少が課題となっており、幸いにも稲津寿大学は各種クラブへの加入により増加傾向にあります。これからは稲津公民館に寿大学の笑顔と歓声が響き渡るよう、そして新入生が多く加入されるよう期待してまいります。

新型コロナウイルスが静かに猛威を振るっています。多くの罹患者が出ています。にもかかわらず、新聞紙上を賑わすことがなくなりまして。皆さん今一度気を付けてください。